

# 平成三十年度 宮城道雄記念コンクール

主 催 時 所 参 加 資 格 賛 援 催  
 筝曲宮城会 一般財団法人 宮城道雄記念館 公益社団法人 日本三曲協会 平成三十年七月十六日(月・祝日) 午前十一時開始 証券会館ホール(東京都中央区日本橋茅場町一―五―八 東京証券会館八階)  
 宮城会会員以外の方も参加できます。なお、演奏部門にて過去に行なわれた同コンクールで第一位の方は、左記の種別のいかんを問わず参加できません。(但し「幼稚・小学生の部」と「中学生の部」に限り、他種の楽器での参加は可。尚、各部とも参加は各自一曲に限る)  
 丹羽正明・浦田健次郎・堀悦子・千葉優子・他 宮城会

## 審査員

1. 演奏部門 宮城曲・古曲・宮城宗家が委嘱した「宮城曲を編曲した作品」により審査

○種 別 イ、独奏(左のうちいずれかを選ぶ) 1 箏 2 三絃 3 箏と唄 4 三絃と唄 \*いずれも伴奏可

○分 類

□、合奏二人以上を一組として大合奏を含む

△幼児・小学生の部(六歳以下でも可)

○演奏時間

○服 妆

○演奏時 間

○演 奏

○服 妆

○演 奏

## 表

### 2. 作曲部門

独奏曲  
(箏・三絃・十七絃・胡弓)

合奏曲  
(箏・三絃・十七絃・胡弓・尺八・笙を使用する作品)

歌 曲  
(箏・三絃・十七絃・胡弓・尺八・笙)

右のいずれかで、未発表の作品一曲に限り、譜面審査を経て公開演奏による審査を受ける。

(A、B、Cとも十分以内の曲であること)

\*コンクール当日、作品の演奏は生演奏に限ります。演奏者に対する謝礼などは参加者の負担となります。演奏者は

彰 彰  
参加者が選定し、演奏に関する注意事項は演奏部門と共通です。

賞 状、賞 金、副 賞

演奏部門一般部一位賞金一〇万円・作曲部門一位賞金一〇万円

他、幼児・小学生の部、中学生の部を除く各部門入賞者に賞金があります。

\*作曲部門一位入賞作品につきましては、宮城道雄オフィシャルサイトにて楽曲(音声ファイル)を紹介、

また特典として当該楽譜を出版いたします。

## 参加要項

### 参加料

○演奏部門

## 申込み方法

参加希望者には申込書(葉書で左記申込み先あて請求のこと。合奏の場合も各自一枚)をお送りします。

申込書に必要事項をご記入の上、右記の参加料を添えて現金書留にてご送付下さい。

後日、参加証を交付します。尚、一旦納入された参加料は返却いたしません。

(作曲部門は左記を参照)

平成三十年五月二十一日(必着)

平成三十年五月三十一日(必着)

## ◎作曲部門に応募される皆様へ

事前審査のために、作品楽譜・解説及び録音物を五月二十一日(必着)に右記申込み先宛お送り下さい。  
 尚、応募された録音物・楽譜等は返却いたしませんので、予めご了承下さい。

△録音物について  
 本選で使用する楽器で演奏し、力セットテープ・CDのいずれかに録音すること。(MD不可)

・応募作品のみを録音し、所要時間を明記すること。  
 \*録音物は、楽譜では記載が困難な作品のニュアンスを補うための資料として提出していただくものですが。事前審査の資料としての重要な役割がありますので、きちんと録音されているかご確認の上、提出してください。

△作品楽譜について  
 楽典の常識をふまえ、テンポや曲想についても正確に記載すること。  
 \*審査のための楽譜であることを認識し、各種記号の多用により、ページを前後させることは出来るだけ避けること。  
 \*樂譜に、録音物と異なる内容が記載されている事が少なからずあります。応募作品は、まず楽譜によつて審査されまつて正確に記載してください。

△作品楽譜について  
 楽典の常識をふまえ、テンポや曲想についても正確に記載すること。

\*審査のための楽譜であることを認識し、各種記号の多用により、ページを前後させることは出来るだけ避けること。  
 \*樂譜に、録音物と異なる内容が記載されている事が少なからずあります。応募作品は、まず楽譜によつて審査されまつて正確に記載してください。

●各部門一位入賞の方には、翌年度のコンクールにおいて授賞式前に演奏をしていただきます。  
 尚、演奏協力者に対する謝礼などは各自の負担となります。  
 会場でのビデオ収録・写真撮影・録音は禁止します。